

伊那市 官民共創の新しいまちづくり協議会

会議名	第 23 回 まちなかエリア高度化 WG			
開催日	2026 年 1 月 30 日(金)			
開催時間	開会	15 : 00	閉会	16 : 00
開催場所	市役所 2 階 第 2 委員会室			
出席者				
協議会・WG メンバー	会場：土田智氏 O L：黒河内貴氏、鈴木孝之氏、政金裕太氏			
事務局・職員	会場：企画部企画政策課 織井邦明課長、村田和也新産業技術推進係長			
関係者				
欠席者	志知貴文氏、細谷啓太氏、瀧内貫氏、有賀慎企画政策課長補佐			
議事	1、次回「対話・つながり・実現の場」の内容について			

議事項目	概要	次のステップ
1、次回「対話・つながり・実現の場」の内容について		
講師お二人との打合せを受けて	<p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体の構成や時間配分については特に講師お二人から異論がなかったと思う。 ・園田さんから話していただいた「『何をどうやるか』の前に『何のためにやるか』を共有することが大切」との話と、今回の「対話・つながり・実現の場」の内容とに多少ズレがあるように思ったがいかがか。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園田さんが「個々の活動がゆるやかな方向性を持つことでシナジーを生むかもしれない。」とおっしゃっていたが、そういう意味でビジョンや方向性、松本市の事例では「合い言葉」と表現していたものが伊那市にもあるとよいと思った。 ・個々の活動は「やりたい」人の「やりたい」ことでよいと思うが、「何のために」をみんなで共有しながら進められればよいと思うし、今回の「対話・つながり・実現の場」が「何のために」を共有する場になることを期待している。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園田さんから話していただいた、松本城三の丸エリアビジョンの「誰かに語りたくなる暮らし」という「合い言葉」と、新さんが実践されているナラティブ(※)の集め方や語りを聞きに行く態度はすごくシ 	

<p>「対話・つながり・実現の場」の内容について</p>	<p>ンクロしている。そのお二人にお話をいただくことで、今回「対話・つながり・実現の場」では、具体的なビジョンや、このエリアではこんなことができそうだとすることが対話できそうだと思うている。</p> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・実際に松本市で具体的な動きが起こったきっかけや、動き出しの雰囲気を感じることができて「自分たちもこうすればいいんだ」とわかるような話がお聞きできればよいと思った。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・あらためて「何のために」は大切だと思ったが、伊那市でもそういった積み上げをしてきているので、あらためて、今回の「対話・つながり・実現の場」の内容について計画変更しなくてよいと思う。 <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none">・今回、講師お二人からは「何のために」の重要性や松本市、奈良井宿等の身近なエリアのお話も聞くことができると思う。そういった話をお聞きしてから対話することで、自然と「何のために」も含めて自分たちならどう動き出すかという対話ができるのではないかと思う。 <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none">・講師お二人と打合せをして、市のビジョン等と個々のまちづくり活動のつながりが見えるようにしていく必要があると思った。現状市のビジョンがしっかり示せていないとあらためて感じた。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・以前、第3部のグループディスカッションの際に今までの「対話・つながり・実現の場」で出たキーワードを参加者に配るといった話をしたがどう思うか。キーワードがたくさんあって、それを選ぶのに時間を取られるようでは本末転倒になる。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・第1部、第2部でいろいろな示唆的なワードが出てくると思う。・今回は「実現」に向けた「つながり」の場だと思っている。「エリア」と「エリア」、「誰」と「誰」がつながれば良い未来が見えるということが予感できる場になってほしい。・松本市の事例ではエリアをどう使うか、「作る」から「使う」にビジョンの示し方を変えたのが特徴的であり、今回はそういった話もしていただけるだろうから、それをまちなかのエリアに置き換え、配ら	
------------------------------	--	--

	<p>れたキーワードと紐づけて考えるというグループディスカッションができるのではないか。</p> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・エリアの使い方がイメージされるようなキーワードを選んで配るといったイメージでよいか。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・A4 の紙の左側にキーワードを記載、右側は余白にしておき、第 1 部、第 2 部で出てきたワードをメモしてもらうような使い方がよいのではないか。あくまでキーワードはヒント集として配るといったイメージでよいと思う。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・皆さんの話を聴きキーワードから「やりたい」をピックアップしてくださいという指示的な使い方ではなく、あくまで参考とするヒント集として配るといったことよいと思った。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・松本市の事例では「作る」でなく「使う」に視点を置いたことが画期的であった。あるエリアの境界を「こう使うと楽しそうだ」、「こんな人たちが会いそうだ」とイメージして実際に使い、そこからいろいろなことが起こるといったのが松本市のパターンであるが、第 1 部、第 2 部から第 3 部にかけて「それって伊那市でもできそうじゃん」という流れになるイメージを持っている。ミスリードしないようにしなければいけない。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・「今まちなかにあるものをどう使うか」をどのようにグループディスカッションをすればよいか。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・松本城三の丸エリアの 10 の境界というのは、ハコモノもあれば、道もあれば、川もあり結構バラバラである。伊那市のまちなかエリアならこういう境界だよねというものが話題として出てくれば、そこに今までに出たキーワードを関連づけていくというディスカッションが面白いのではないか。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・まちなかエリアの境界を話し合う参考として、今の伊那市の中心市街地のマップがあった方がよいと思う。 <p>○WG メンバー</p>	
--	---	--

<p>「対話・つながり・実現の場」のタイトル</p>	<ul style="list-style-type: none">・昨年6月の「対話・つながり・実現の場」のまち歩きで作ったマップも何らかの形で見られるようにしたい。○WGメンバー<ul style="list-style-type: none">・新さんから市の支援策についてのお話があったが、現在まちなかで活動している団体等が公的な補助金を活用している事例もたくさんあると思う。そういった支援策のリストが参考としてあってもよいと思う。○WGメンバー<ul style="list-style-type: none">・「対話・つながり・実現の場」の後に具体的に何かやりたいとなったときに使えるものとして支援策のリストがあると参加した方にとっては嬉しいのではないか。○WGメンバー<ul style="list-style-type: none">・タイトルは、「多世代のアクションをつなげるまちづくり」はどうだろうか。・松本城三の丸エリアビジョンの仕掛けは、アクションの手前の「つながる」の部分がとても丁寧でわかりやすく、「つながる」の吸引力が高い。今回の「対話・つながり・実現の場」でも「つながり」を中心にお話いただけたらと思うし、「つなげる」、「つながる」ってどういうことか参加者が感触を手に入れるのが大切だと思う。○WGメンバー<ul style="list-style-type: none">・「実現」の過程として「つながり」は必要でポイントであると思うが、つながった先がイメージできるタイトルであるとよいと思う。○事務局<ul style="list-style-type: none">・前回の「対話・つながり・実現の場」の続編であり、作戦会議がまだ続いているということで「まちなか作戦会議」をタイトルの頭に付けてはどうか。その後に今議論しているタイトルがあればよいと思う。 <p><決定タイトル> 「まちなか作戦会議～『やりたい』が『つながり』で動き出す～」</p> <p><リード文案> 「まちづくりのプロから学び、最初の1歩をみんなと共に踏み出しませんか」</p> ○WGメンバー<ul style="list-style-type: none">・タイトル、リード文以外に今回の「対話・つながり・実現の場」の趣旨を入れた方がよい。	
----------------------------	--	--

<p>グループディスカッションの人数</p> <p>Slido</p> <p>チラシの作成期限について</p>	<p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・趣旨はあった方がよいと思う。特に何かをやりたい人同士がつながる、その「つながる」がとても大切だと思うので、そこを強調できればと思う。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループディスカッションのテーブル人数は何人くらいがよいか。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回参加者(18人)よりは増えると思うが、1テーブル5~6人が対話しやすいと思う。 ・少なすぎると本当はつながりそうだった人たちを取りこぼしてしまうかもしれない。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に Slido のテストをする必要があると思う。 <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市役所内部的に使用許可が必要かも含め確認しておく。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無料アカウントでどの程度まで使用できるか調べておく。用をなさないのであればまた相談させていただく。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チラシはいつまでに完成すればよいか。 <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可能であれば、2月7日(土)開催の「伊那弥生ヶ丘高校将来活用【事業、アイデア】プレゼン大会」参加者に配布できればと思っている。 	
<p>やること (担当)</p>		
	<p><チラシ関係></p> <ul style="list-style-type: none"> ・チラシ作成 (WG メンバー) 2/5(木)データ入稿 ・今回の「対話・つながり・実現の場」が協議会全体で何回目かの確認 (事務局) ・講師お二人の顔写真、プロフィール準備 (事務局) <p><「対話・つながり・実現の場」準備品></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒント集作成 (左側が今までに出たキーワード、右側がメモの A4 サイズ) (WG メンバー) ・まちなかでのアクションに関係しそうな支援策リスト資料作成 (事務局) ・中心市街地の地図作成 (各テーブルに置き、対話の参考としていただく) (事務局) <p><Slido></p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用に関する市役所内部的な確認 (事務局) 	

	<ul style="list-style-type: none">・事前テスト（事務局）・無料アカウントでできることの確認（WGメンバー） <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none">・会場・物品準備、参加者募集（事務局）・講師お二人への正式な依頼、報酬等支払い等に必要な手続き（事務局）・当日午前中の講師お二人とのまち歩きの準備・調整、昼食の設定（事務局）	
--	--	--

(※)ナラティブ…話す人の視点や感情、経験に基づいて紡がれる物語

■今後のスケジュール

<次回 WG>

- ・2026年2月16日(月)又は18日(水)で調整

<次回「対話・つながり・実現の場」>

(まち歩きによる講師お二人へのまちなかの説明)

- ・2026年3月1日(日)9:00(仮)～

(「対話・つながり・実現の場」)

- ・2026年3月1日(日)13:00～ 伊那市生涯学習センターいなっせ 5階会議室